

秋経協・12月セミナー報告

テーマ

『部下育成とパワーハラスメント』

～「パワハラです！」と言われない積極的な部下指導の進め方～



(一社) 日本産業訓練協会 府川講師

◎ 講義内容

- ・パワーハラスメントの理解
- ・上司と部下の「パワハラ」に対する誤解
- ・業務指導とパワハラの境界線は
- ・部下育成の基本
- ・正しい「ほめ方」、「しかり方」
- ・部下が正しく指導できるように

去る、12月4日（火）30年度第5回のセミナーが、ホテルメトロポリタン秋田で、会員企業を中心に15社26名の参加で開催された。

参加受講者の多くは現場の管理職。日常業務での活用を想定した内容のセミナーとなった。

府川講師から「組織の目的、目標」について参加者への問いかけが冒頭にあり、管理者の立場と役割を理解したうえで、パワーハラスメント対策と部下育成について学んだ。

特にパワハラ対策については、厚労省調査で80%以上の企業においては相談窓口を設置、60%以上が就業規則などを盛り込み施策等実施しているものの、実際にはパワハラを受けた従業員が会社関係者に相談したのは10%程度で、40%はだれにも相談しなかったことが講師から伝えられると、驚きの声があがり対応の難しさを改めて認識した。参加受講生から「パワハラについての認識と対応の重要性を理解ができた。」「社内においてパワハラのアンケートを実施したい。」「今回の研修を社内研修で活かしたい。」などパワハラ防止に前向きな声が寄せられた。また、人材育成に関しては「日常業務の中で5W1Hを活用したい。」「上手に部下をほめる・しかる、の重要性が分かった。」などの声が寄せられた。

なお、今後の予定としては、2月セミナーにおいて人事管理面から『働き方改革に対応した労務トラブルの未然防止』をテーマに開催の予定である。

